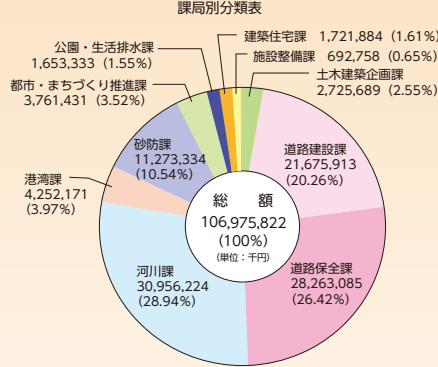


土木建築部の予算の使われ方である表2を見ていただくと、河川の管理や氾濫防止を担う河川課が28.9%、次いで道路のメンテナンスを行う道路保全課が26.4%、道路を作る道路建設課が20.2%の順となっています。実に、道路建設とメンテナンス、河川の整備で土木建築部の予算の4分の3が費やされています。

近年、想定以上の雨量により、毎年のように氾濫が起きています。そのため河川の整備が急務です。また、道路の整備は暮らしやすさに直結していますし、戦後まもなく整備された道路や橋などの大規模改修や安全確保に多くの予算が必要となっているからです。

さらに、土砂災害防止や復旧を担当する砂防課も10.5%の予算が充てられています。

表2【土木建築部関係予算額】(令和2年度当初)



河川の氾濫の際、被害を大きくする要因の一つに、土石流や流木があります。それらを防ぐため河川の上流にスリット(写真③)の設置を進めています。



また、橋を架け替える際は、流木が引かかるのを防ぐため橋脚を少なくするなどの改良も行われています。

(2) 道路整備

県は一般道だけでなく、高速道路を補完する地域高規格道路(中九州横断道路、中津日田道路)の建設も促進しています。



また、別府市では九州横断道路の鉄輪地区で防災・景観の観点からの無電柱化(写真イメージ④)、つるりん通りの拡張などの整備を進めています。

(3) 県営住宅の整備

県営住宅も住みやすさを考え、順次、改修が進められています(写真⑤)。



その他、港湾の整備や建物の耐震化政策、急傾斜地対策など様々な事業が進められています。

しかしながら、土木建築関係の事業はお金も時間もかかります。そのため、なんと言っても財源の確保がこれからも大きな課題であることは間違いありません。

それでも、県では安心安全な環境整備を目指し、県民の声や要望を受け止めながら着実に進めていますので、私も皆さんの声や要望を県に届ける橋渡しを務めていきます。

原田たかし後援会への加入をお願いします

原田たかし後援会への加入をお願いします。年会費は1家庭1,000円です。加入していただいた方へは、年4回発行しています「原田たかし会報」と県民クラブ会報「県民ひろば」をお送りいたします。御連絡をお待ちしております。

原田たかし後援会 ☎0977(25)0011

〒874-0838 別府市荘園町3組の2 原田たかし事務所内

具体的な取り組みを紹介

土木建築部の事業や取り組みを写真とともに紹介します。

(1) 防災対策

写真は、2017年7月の九州北部豪雨による日田市大肥川の氾濫による被害(写真①)



です。昨年7月には日田市天瀬町で玖珠川の氾濫も起きました。

河川の氾濫防止のためには、これまで以上に河川の護岸の強靱化や定期的な河床掘削が重要です。

また、九州北部豪雨の際には日田市小野地区で大規模な土砂崩れ(写真②)も起き、現在も復旧工事が進められています。



私が所属しています県民クラブもHPを開設していますので御覧下さい。

<http://www.oct-net.ne.jp/kenmin-club/>

大分県議会 県民クラブ

検索

